（様式第８号）

長野県みらい基金　信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム
助成対象事業実績報告書

2026 年 3 月 26 日

公益財団法人
　長野県みらい基金　理事長　様

申請者

所在地：長野県安曇野市穂高柏原 1132 番地 2

団体名：NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団

代表者職氏名：代表理事　望月彰

※押印は不要です

「長野県みらいベース」において当団体が掲載した「信州の特色ある学びを実践する事業・団体助成プログラム」について、下記のとおり報告します。

記

１　助成対象事業名
　ふるさと探究安曇野～探究学習支援事業

２　助成対象事業の実施期間
　2025 年 4 月 1 日　～　2026 年 3 月 25 日

３　助成対象事業の内容
「ふるさと探究」とは、これまでの地域資源の掘り起こしや人材育成のノウハウを活かし、フィールドワークにより小中学校での探究的な地域学習を支援する活動です。この活動により子ども達のふるさとへの関心を深め、将来の安曇野を担う人材育成につなげていくことを目指しています。

４　事業の成果
2025 年度は 4 プログラム 10 講座 22 クラス（小学校 7 講座 13 クラス、中学校 3 講座 9 クラス）で実施しました。

５　助成対象事業の実施状況を示す書類（添付）
(1)　助成対象事業収支計算書
(2)　事業の経過又は成果を証する書類

事業の経過又は成果を証する書類

※写真を以下の枠内に２～４枚添付してください。

※写真以外の成果物（チラシ・リーフレット等）がある場合には、別途送付してください。

<table>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</table>

ふるさと探究 安曇野

～子ども達の探究学習支援～

事例集
2024-2025






令和8年3月

NPO法人
安曇野ふるさとづくり応援団

「ふるさと探究安曇野」とは、失われつつある安曇野の歴史文化景観遺産の存在や成り立ち等をNPO法人安曇野ふるさとづくり応援団が様々な主体との協働で、子ども達に伝えていくしくみづくりを進める取り組みです。学校や主催団体の要望に応じたオーダーメイドによる学習プログラムで、地域への理解の程度や参加者の関心のレベルに合わせた初級・中級・上級のプログラムに大別されます。

初級a　謎解きウォーク

内 容

地図をみながら歩いてポイントを探し、ポイント近くに見えるモノの背景に潜む様々な謎の答えを推理しシートに記入。案内役の大人のガイドのポイント解説で理解をさらに深める探究型のウォークラリー。

ねらい

日頃見慣れてる何気ない風景にもその成り立ちには理由や様々な背景があることについて、「謎解き」という子どもの冒険心を掻き立てるしかけを活かして理解を深める。

初級b　ぬかくど体験

内 容

安曇野の有機米農家がぬかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでぬかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行うプログラム。

ねらい

安曇野の水と稲作を理解しながら、電気もガスも使わずに炊く米の味も味わい、自分の育つ環境、土地のもつ「豊かさ」、古くから地域に継承されてきた知恵や技術を五感で体験する。

中級　謎探しウォーク

内 容

STEP1　個人で取り組むまちの中の「謎探し」とその解決
STEP2　グループで取り組むまちの「謎探し」とその解決

ねらい

同じ「謎探し」とその解決であっても、個人の考えや目線で行う場合と、グループで話し合って探す場合の間に様々な違いがあることを感じ、多様な視点や考え方への理解を深める。

上級　課題解決型探究

内 容

STEP1　初級編の手法や考え方を取り入れ、まちを歩きその特徴や課題を謎解き方式で理解。
STEP2　STEP1での理解を活かし、再度まちを確認しながら、魅力向上や課題の解消につながる新たな取り組みを発案。

ねらい

謎解きを通じて身近な暮らしの環境の成り立ちや特色・課題の捉え方を学び、自分がいま育っているまちへの関心・理解を深める。

さらに、まちの特色を踏まえて設定されたテーマ、課題に沿って自分たちでその対応を考えて形にしていく企画・発案のプロセスを体験する。

目　次

区分	対象(学校等)	学年	年	月	講	講座内容	ページ
初級	梓川公民館	5～6	2024	6	1	謎解きウォーク	1
初級	武蔵野六中	1	2024	9	1	セカンドスクール・謎解きウォーク	2
初級	堀金小	3	2024	9	2	謎解きウォーク	3
初級	豊科東小	4	2024	10	1	謎解きウォーク	4
初級	武蔵野六中	1	2025	9	1	セカンドスクール・謎解きウォーク	5
初級	堀金小	3	2025	9	2	ガイダンス	6
初級	豊科南小	4	2025	11	1	ガイダンス	7
初級	二子小	3	2024	11	1	ぬかくど体験	8
初級	波田小	6	2024	12	1	ぬかくど体験	9
初級	堀金小	3	2025	2	1	ぬかくど体験	10
初級	豊科北小	3	2025	3	1	ぬかくど体験	11
初級	二子小	3	2025	12	1	ぬかくど体験	12
初級	豊科北小	3	2026	2	1	ぬかくど体験	13
初級	堀金小	3	2026	2	1	ぬかくど体験	14
中級	豊科北小	3	2024	7～11	3	謎探しウォーク 学校周辺をフィールドに地図と土地利用の変化を学ぶ探究学習	15
中級	堀金小	4	2024	6～10	4	謎探しウォーク 身近なまちで興味をもった謎をグループ単位で深める探究学習	17
中級	堀金小	4	2025	6～10	4	謎探しウォーク 身近なまちで興味をもった謎をグループ単位で深める探究学習	19
中級	豊科北小	4	2025	11	3	土地の凹凸を探ることで湧き出す謎を探し、地形の理解を深める探究	21
上級	豊科南中	3	2024	5	9	身近な風景を知り、地域の成り立ちや文化・くらしへの理解を深め、 壁新聞として発信	24
上級	豊科南中	3	2025	5	8	身近な風景を知り、地域の成り立ちや文化・くらしへの理解を深め、 壁新聞として発信	27
上級	明科中	3	2025	5	5	まちの土台を知る、そして、まちの変化＆今に至ったプロセス を考える探究学習	30

謎解きウォーク【地域】

初級

梓川公民館　2024/6/22

概要

梓川公民館では、夏休みに予定の姉妹都市との交流の準備として、自分たちの住むところの魅力を発見し、まとめ、伝えるための探究学習を開催。

ウォークラリーのミッション

【ミッション】　『わがまち梓川探偵団』
～　4つのエリアの謎を解け！！

- 【地形の謎】
- 【リンゴの謎】
- 【水の謎】
- 【暮らしの謎】

ウォークラリーの進め方

①スタート
・ルートに沿って歩く
②ウォーキング
・ポイントをさがす
③チェックポイント
・ワークシートをもらう
・エリア内の謎を解く
・シールを貼る
④ゴール
・11:00までに公民館にもどる
⑤まとめ(室内)

白地図付模造紙作業　【25分】
ルート、チェックポイント、写真、コメント

班毎に発表　【10分】
①メンバー紹介
②興味を持ったエリア
③興味深い謎
④梓川の魅力

講評・まとめ　【10分】





フィールドで探し、考え、記録し、解説をきく

それぞれの場所での謎の答えを予想する欄とわかったことを記入するシートを用意し、一帯を探検。













発見したこと・気付きをまとめる

3つの班ごとに、4つのエリアそれぞれで興味をもった謎と姉妹都市で伝えたいことを整理し、わがまちの魅力を話し合って書き出して、お互いに報告して、認識を共有。











謎解きウォーク【学校：学習旅行】

武蔵野六中1年
セカンドスクール　2024/9/7

初級

グループで作戦会議

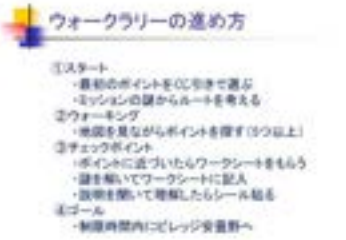
例年、セカンドスクールのフィールドとしてビレッジ安曇野を訪れる武蔵野六中の1年生を対象に実施。
ビレッジ安曇野一帯で9つの謎を準備。コースをグループ単位で話しあってからスタート。











フィールドで探し、考え、記録する

謎解きポイントでは観察して謎の理由や背景を推理。そのうえで案内スタッフの補足解説をきく流れで運営。子どもたちは見知らぬ土地ながら、考え、記録し、スタッフと言葉を交わし、より深く理解。

















見つけたモノ・コトを整理

自分たちで撮影した写真や記録シートをもとに、印象に残ったことやもっと知りたいこと等を班ごとにまとめ、みんなで共有。











謎解きウォーク【学校】

初級

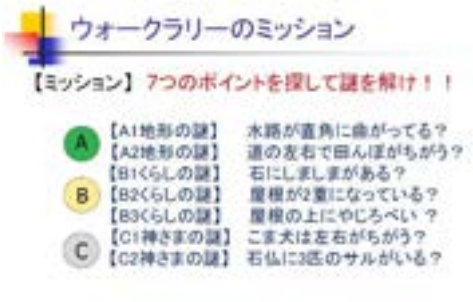
堀金小3年　2024/9/24.25

グループで作戦会議

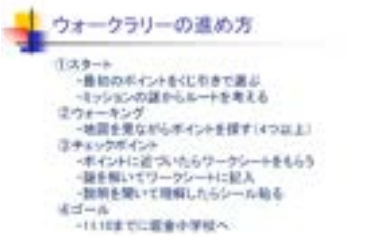
堀金小学校周辺一帯で7つの謎を準備。コースをグループ単位で話しあってからスタート。











フィールドで探し、考え、記録する

謎解きポイントでは観察して謎の理由や背景を推理。そのうえで案内スタッフの補足解説をきく。

















見つけたモノ・コトを整理

運営サイドであらかじめ準備した写真を使って、地図上に貼りながら歩いたコースを記入して振り返り。

そのうえで印象に残ったことを1人1つ以上上げてもらい、付箋紙に書き込んで地図内に貼り付け。













謎解きウォーク【学校】

初級

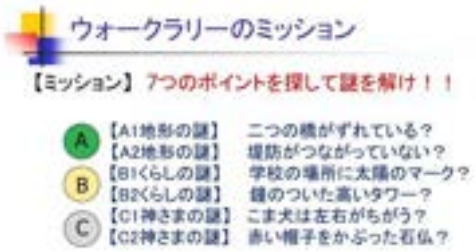
豊科東小4年　2024/10/23

グループで作戦会議

豊科東小学校周辺一帯で6つの謎を準備。コースをグループ単位で話しあってからスタート。











フィールドで探し、考え、記録する

謎解きポイントでは観察して謎の理由や背景を推理。そのうえで案内スタッフの補足解説をきく。

















見つけたモノ・コトを整理

印象に残ったことを1人1つ以上上げてもらい、付箋紙に書き込んで地図内に貼り付けてまとめ。













謎解きウォーク【学校：学習旅行】

武蔵野六中1年
セカンドスクール　2025/9/6

初級

グループで作戦会議

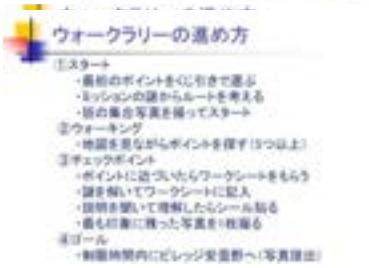
例年、セカンドスクールのフィールドとしてビレッジ安曇野を訪れる武蔵野六中の1年生を対象に実施。
ビレッジ安曇野一帯で8つの謎を準備。最初のポイントはくじで決めたうえで、コースをグループ単位で話しあってからスタート。











フィールドで探し、考え、記録する

スタッフが待つ謎解きポイント目指して生徒たちが移動。ポイントに到着したらスタッフからシートを受け取り、観察を開始。謎の理由や背景を推理して記入。そのうえでスタッフの補足解説をきき、内容を記録しながら理解を深めた。

















見つけたモノ・コトを整理

自分たちで撮影した写真や記録シートをもとに、印象に残ったことやもっと知りたいこと等を班ごとにまとめ、みんなで共有。











謎解きウォーク【学校】

初級

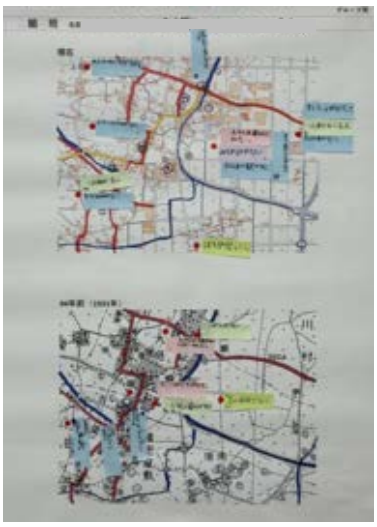
堀金小3年　2025/9/10,24.25

1 昔と今の違いを知る

地図の見方を振り返ったうえで、100年前と現在の地図を比べ、変化の様子を知る。







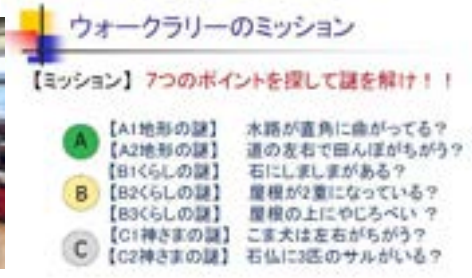




2 謎解きウォーク

学校周辺の見慣れた風景の中に隠されている謎の解を推理しながら、一帯を歩く。







謎解きポイントでは謎の理由や背景を推理。そのうえで、案内スタッフの補足解説をきいて記録。









あらかじめ準備した写真を使って、地図上に貼りながら歩いたコースを記入して振り返り。そのうえで印象に残ったことを1人1つ以上上げてもらい、付箋紙に書き込んで地図内に貼り付け、グループ単位で報告。







謎解きウォーク【学校】

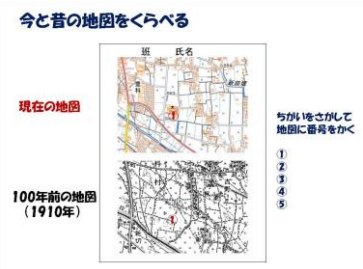
初級

豊科南小4年　2025/11/13,20

1 昔と今の違いを知る

地図の見方を振り返ったうえで、100年前と現在の地図を比べ、変化の様子を知る。











2 謎解きウォーク

学校周辺の見慣れた風景の中に隠されている謎の解を推理しながら、一帯を歩く。







謎解きポイントでは謎の理由や背景を推理。そのうえで、案内スタッフの補足解説をきいて記録。









あらかじめ準備した写真を使って、地図上に貼りながら歩いたコースを記入して振り返り。そのうえで印象に残ったことを1人1つ以上上げてもらい、付箋紙に書き込んで地図内に貼り付け、グループ単位で報告。







初級

ぬかくど体験

二子小3年　2024/11/26

安曇野の有機米農家がぬかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでぬかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行います。

無農薬米や田んぼの生き物の話（ぬかくど釜の構造の説明なども含む）





玄米と精米の違い、米を作ることで、他の生き物も田んぼで生きていけることを学ぶ
ぬかくどの構造や炊きあがり時間の説明を受け、ぬかくどに燃料のぬかを入れる

紙芝居によるぬかくど釜の説明



ぬかくどの特徴や役割について、紙芝居で楽しく学ぶ

おむすびつくりと試食



茶碗とクッキングシートを使って、ふんわりした丸い塩おむすびをつくって試食





ぬかくど体験

初級

波田小6年　2024/12/9.16

安曇野の有機米農家がぬかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでぬかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行います。

ぬかくど釜の構造の説明と着火



ぬかくどの構造や炊きあがり時間の説明を受け、ぬかくどに燃料のぬかを入れる

無農薬米や田んぼの生き物のお話



玄米と精米の違い、米を作ることで、他の生き物も田んぼで生きていけることを学ぶ

紙芝居によるぬかくど釜の説明



ぬかくどの特徴や役割について、紙芝居で楽しく学ぶ

おむすびつくりと試食



茶碗とクッキングシートを使って、ふんわりした丸い塩おむすびをつくって試食





ぬかくど体験

初級

堀金小3年　2025/2/21

安曇野の有機米農家がぬかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでぬかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行います。

ぬかくど釜の構造の説明と着火



ぬかくどの構造や炊きあがり時間の説明を受け、ぬかくどに燃料のぬかを入れる

無農薬米や田んぼの生き物のお話



玄米と精米の違い、米を作ることで、他の生き物も田んぼで生きていけることを学ぶ

紙芝居によるぬかくど釜の説明

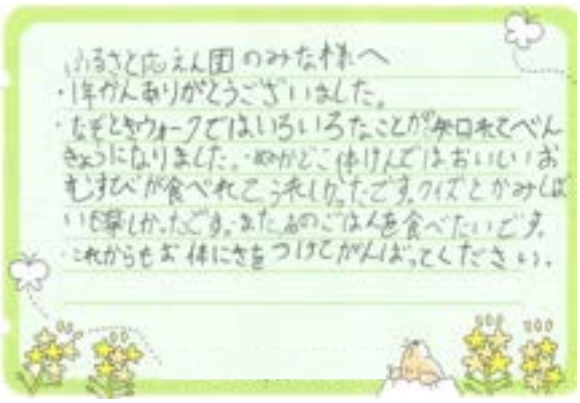


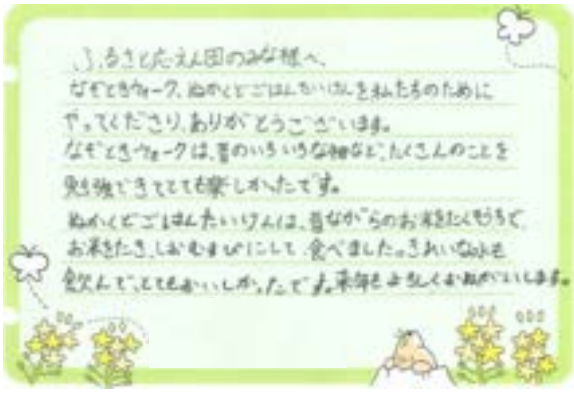
ぬかくどの特徴や役割について、紙芝居で楽しく学ぶ

おむすびつくりと試食



型とクッキングシートを使って、ふんわりした丸い塩おむすびをつくって試食





ぬかくど体験

初級

豊科小3年　2025/3/3.4

安曇野の有機米農家がぬかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでぬかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行います。

ぬかくど釜の構造の説明と着火



ぬかくどの構造や炊きあがり時間の説明を受け、ぬかくどに燃料のぬかを入れる

無農薬米や田んぼの生き物のお話



玄米と精米の違い、米を作ることで、他の生き物も田んぼで生きていけることを学ぶ

紙芝居によるぬかくど釜の説明



ぬかくどの特徴や役割について、紙芝居で楽しく学ぶ

おむすびつくりと試食



型とクッキングシートを使って、ふんわりした丸い塩おむすびをつくって試食







ぬかくど体験

初級

二子小3年　2025/12/12

安曇野の有機米農家がぬかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでぬかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行います。

ぬかくど釜の構造の説明と着火



ぬかくどの構造や炊きあがり時間の説明を受け、ぬかくどに燃料のぬかを入れる

無農薬米や田んぼの生き物のお話



玄米と精米の違い、米を作ることで、他の生き物も田んぼで生きていけることを学ぶ

紙芝居によるぬかくど釜の説明



ぬかくどの特徴や役割について、紙芝居で楽しく学ぶ

おむすびつくりと試食



型とクッキングシートを使って、ふんわりした丸い塩おむすびをつくって試食



ぬかくど体験

初級

豊科北小3年　2026/2/9.10

安曇野の有機米農家がぬかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでぬかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行います。

ぬかくど釜の構造の説明と着火



ぬかくどの構造や炊きあがり時間の説明を受け、ぬかくどに燃料のぬかを入れる

無農薬米や田んぼの生き物のお話



玄米と精米の違い、米を作ることで、他の生き物も田んぼで生きていけることを学ぶ

紙芝居によるぬかくど釜の説明



ぬかくどの特徴や役割について、紙芝居で楽しく学ぶ

おむすびつくりと試食



型とクッキングシートを使って、ふんわりした丸い塩おむすびをつくって試食

ぬかくど体験

初級

堀金小3年　2026/2/20

安曇野の有機米農家がぬかくどご飯の材料であるコメと水の解説を行ったうえで、紙芝居やクイズでぬかくど釜への理解を深め、実際に本物の釜を使ってご飯炊き体験を行います。

ぬかくど釜の構造の説明と着火



ぬかくどの構造や炊きあがり時間の説明を受け、ぬかくどに燃料のぬかを入れる

無農薬米や田んぼの生き物のお話



玄米と精米の違い、米を作ることで、他の生き物も田んぼで生きていけることを学ぶ

紙芝居によるぬかくど釜の説明



ぬかくどの特徴や役割について、紙芝居で楽しく学ぶ

おむすびつくりと試食



型とクッキングシートを使って、ふんわりした丸い塩おむすびをつくって試食





謎探しウォーク【学校】

中級

豊科北小3年　2024年7月～11月

学校周辺をフィールドに地図と土地利用の変化を学ぶ探究学習

1 昔と今の違いを知る

動画で地図記号の学習を振り返り。





豊科駅～安曇野インター一帯の昔と今の地図を比べ、違いをみつけ、個々に記入。それを持ち寄りグループ単位で整理。





班ごとに見つけた違いを発表してみんなで共有。

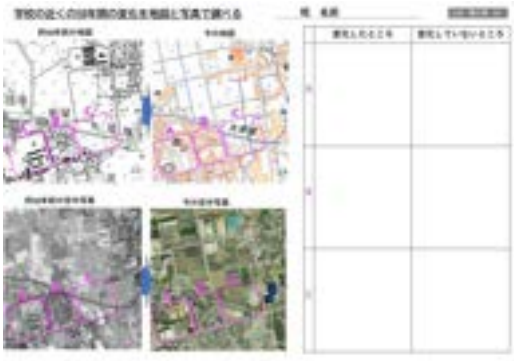


対象範囲を学校周辺に絞り込み、グループを再編

2 空中写真と地図で変化を整理

学校周辺で異なる土地利用3区域の50年前と現在の空中写真と地図で異なるところ、気づいたことを個々に書き出し。





書き出した内容をグループ内で共有しながら整理。さらに、3区域の変化の程度をランク付け。





とりまとめた成果を班ごとに発表。



謎探しウォーク【学校】

中級

豊科北小3年　2024年7月～11月

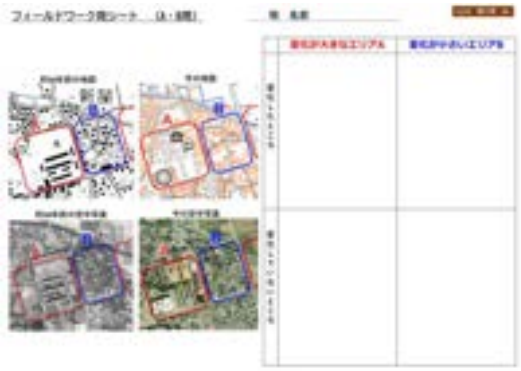
学校周辺をフィールドに地図と土地利用の変化を学ぶ探究学習

3

現地で学んで、新たな発見や謎をまとめる

3区域のうち、2区域を対象に、地図・写真の比較で気づいた変化をや地区間の違いを現地で確認。新たに気づいたことをシートに記入。





シートを持ち寄ってグループ内で共有後、新たに気づいたことや謎を書き出し。





グループごとにまとめた結果を報告し、全体で共有。







謎探しウォーク【学校】

中級

堀金小4年　2024年6月～10月

身近なまちで興味をもった謎をグループ単位で深める探究学習

1 昔と今の違いを知る

昔と今の地図を比べ、違いをみつけ、知る





班ごとに見つけた違いを発表してみんなで共有



次回の授業で歩いてめぐる3エリアを紹介



2 地図をもとに現地で謎探し

主なエリア3か所を対象に新旧地図を見ながらまちあるきをして、自分が気づく謎を記録する





記録をもとに、3か所それぞれで見つけた謎のなかから、印象に残った3つを個人単位で書き出し





みつけた謎を班のなかで共有

興味をもった分野をもとに、同種のエリアに興味をもつ児童の集まるグループに再編

謎探しウォーク【学校】

中級

堀金小4年　2024年6月～10月

身近なまちで興味をもった謎をグループ単位で深める探究学習

3 それぞれで発見した謎を共有

興味を持ったエリアごとにグループ分け。1つのエリアに絞り込んで100年前→50年前→現在までの変化を地図と写真で学習。個人でそれぞれのシートに記入。





個人のまとめをグループ内で書き出しながら、フィールドワークで確認することを整理。
その成果をグループごとに発表。





4 1つのエリアで謎を現地で追う

話し合った結果をもとにフィールドワークを実施。写真は、公民館で職員から話を聞くグループの様子。





理解できた謎、さらに調べてみたい謎を班ごとに発表して共有。



謎探しウォーク【学校】

中級

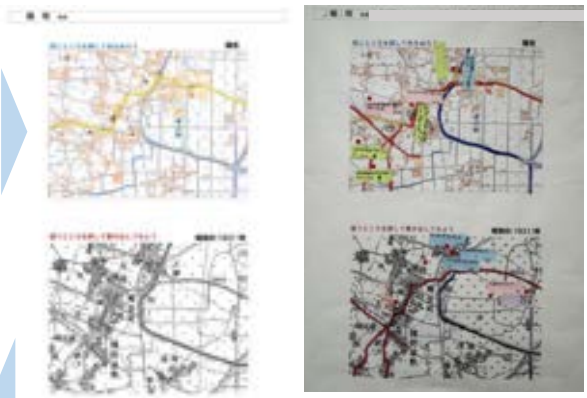
堀金小4年　2025年6月～10月

身近なまちで興味をもった謎をグループ単位で深める探究学習

1 昔と今の違いを知る

昔と今の地図を比べ、違いをみつけ、知る





班ごとに見つけた違いを発表してみんなで共有



次回の授業で歩いてめぐる3エリアを紹介



2 地図をもとに現地で謎探し

主なエリア3か所を対象に新旧地図を見ながらまちあるきをして、自分が気づく謎を記録する





記録をもとに、3か所それぞれで見つけた謎のなかから、印象に残った3つを個人単位で書き出し





みつけた謎を班のなかで共有

興味をもった分野をもとに、同種のエリアに興味をもつ児童の集まるグループに再編

謎探しウォーク【学校】

中級

堀金小4年　2025年6月～10月

身近なまちで興味をもった謎をグループ単位で深める探究学習

3 それぞれで発見した謎を共有

興味を持ったエリアごとにグループ分け。1つのエリアに絞り込んで100年前→50年前→現在までの変化を地図と写真で学習。個人でそれぞれのシートに記入。





個人のまとめをグループ内で書き出しながら、フィールドワークで確認することを整理。
その成果をグループごとに発表。





4 1つのエリアで謎を現地で追う

話し合った結果をもとにフィールドワーク





理解できた謎、さらに調べてみたい謎を班ごとに発表して共有



謎探しウォーク【学校】

豊科北小4年　2025年11月～2026年2月

中級

土地の凹凸を探ることで湧き出す謎を探し、地形の理解を深める探究

1 等高線を知る

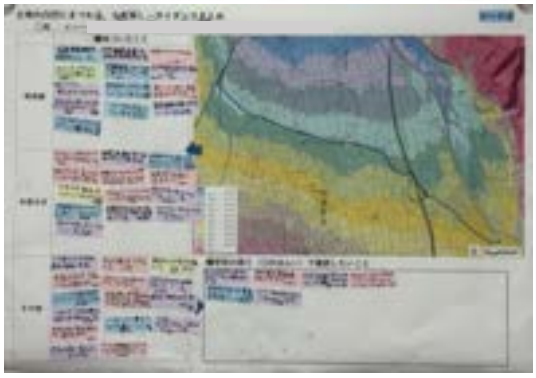
等高線をトレースし、線の意味を理解する





3mごとに色分けした等高線図をもとに学校周辺の凹凸について疑問に思うことを書き出し、グループ単位でまとめ





班ごとに気づいたこと、次回のフィールドワークで確認したいことなどを報告



2 地図をもとに現地で謎探し

土地の凹凸と等高線の関係を観察できるエリア2か所を設定。





スタッフが下見を経て、各エリアでの観察や学習内容を検討

各地点でスタッフの案内のもと、様々な視点から観察を実施。





室内に戻り解けた謎、さらなる謎等をグループ単位で整理して、報告し共有。



謎探しウォーク【学校】

豊科北小4年　2025年11月～2026年2月

中級

土地の凹凸を探ることで湧き出す謎を探し、地形の理解を深める探究

3

より広い範囲を対象にして現地で学ぶ

バスであづみの公園へ移動。



あづみの学校玄関ホールで扇状の等高線をトレースし、形の意味を学習。



扇型の等高線の意味や成り立ちの背景を安曇野の模型で学習



公園の屋外では地形や水をテーマにした観察ポイントを準備し、それぞれの箇所で気づきや疑問を記入

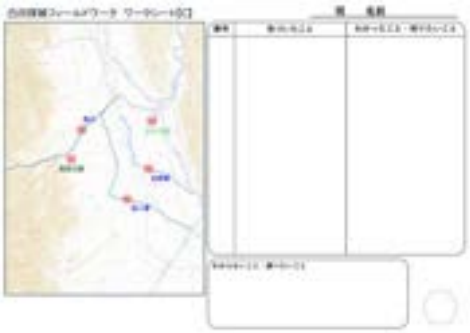


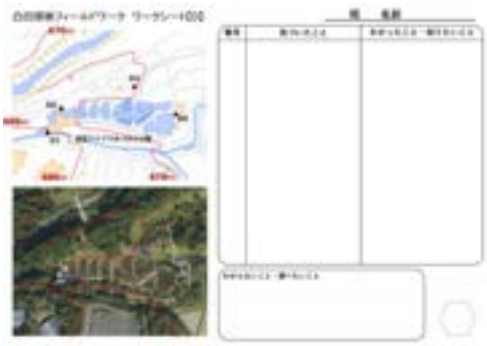
公園での学習を終えたあと、豊科の湧水公園へ移動し、地下水の湧き出す仕組みや、水温、柳の多い環境などを学習。

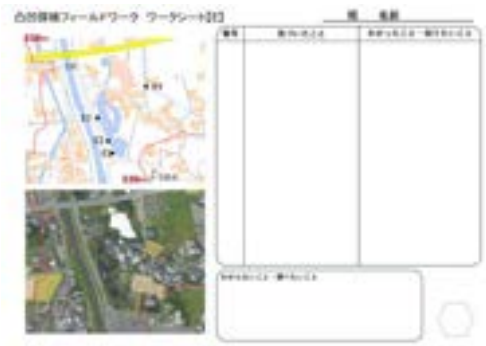


それぞれの場所でシートを配布して学習









謎探しウォーク【学校】　豊科北小4年　2025年11月～2026年2月











謎解き学習①では、配られた地図を使って安曇野市の等高線を見つけて学習シートにまとめました。みんなでわかったことをまとめて発表しました。発表するときは、とても緊張したけれどスタッフや同じ班の人たちのおかげで等高線のことを発表できました。



田北広場の地図から北の方角を見ると学校の一部が見えない事に気づいた。一段は約5メートルなので学校と田北広場の差は、5メートルということに気づいた。

田北広場の駐車場のところは、平らでした。理由は田北広場を使う人がよる駐車場が使いやすいと、車がよりにくいからだと思いました。


学校の南側の斜んぼには、一つの田んぼずつ段があって北に行くほど、どんどん低くなっていた。
等高線では北側が低くなっていたので田んぼの段差が関係していると思いました。












わかりやすく扇頂（せんちょう）、扇央（せんおう）、扇端（せんたん）と書いてあるし、色分けされていてどこにあるかわかりやすいね。


この緑の葉っぱみたいなのは、わさびで、下にある水は湧き水だよ。

課題解決型探究【学校】

豊科南中3年　2024年5～9月

身近な風景を知り、地域の成り立ちや文化・くらしへの理解を深め、壁新聞として発信

STEP1「身近な風景を知って読み解く」

学校の周辺の身近な風景に目を向け、そのなかに隠された謎を解き、その背景や理由の相互のつながりについて考える。

1　身近な風景の見方を学び、考えてみる。





・見える風景の背後にあるものを知る座学の後、心に残る風景とその構成要素を挙げ気づくことや疑問を整理するミニワークショップを実施

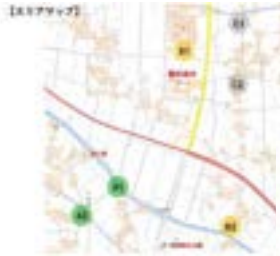


2　謎解きポイントを巡り、身近な風景のなかに隠された謎を解く。





・学校周辺の集落環境のなかに息づく、暮らしや水、神様等に関する様々な謎を解いて歩く謎解きウォークを実施





3　フィールドで知った謎の解を手掛かりに風景の構成要素のつながりを考えるワークショップを実施。





・グループ単位で掘り下げて探究するテーマや内容を考える。



課題解決型探究【学校】

豊科南中3年　2024年5～9月

STEP2「伝えるべき内容を整理し、取材を行い、壁新聞の構成を具体化する」

STEP1での学びを活かし、伝えるべき内容を整理し、グループ内で役割を分担。個々で取材を行い、壁新聞の構成を具体化する。

4 新聞取材の手法などを学んだうえで、グループごとに新聞のテーマ・構成を考え、準備や取材を進める。





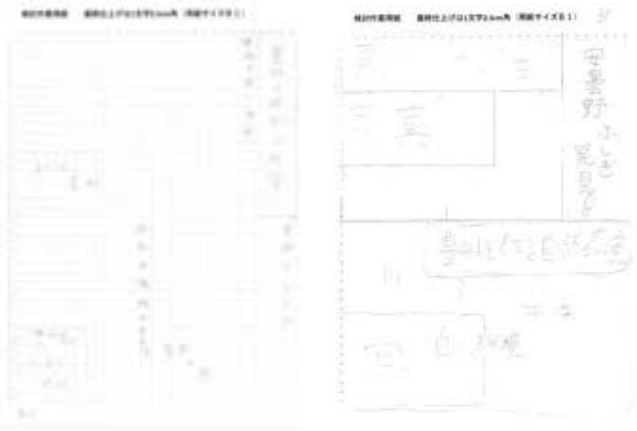
・ワークショップの成果をもとに、壁新聞のテーマや構成、取材する内容の候補を整理（右）
・完成までのスケジュールを確認し、夏休み中に必要な取材を実施（左下）
・その成果を持ち寄り、壁新聞の全体レイアウトをグループ単位で検討（右下）







夏休み中の宿題として一部取材を実施。5W1Hの様式の記録シートに整理。



STEP3「記事を書き、壁新聞を仕上げ、後輩に向けて伝える」

5 グループ単位で壁新聞をつくる。





・個々で取材した成果をもとに、自分の気づきや発見、思いも伝えることに配慮しながら記事にまとめる。必要に応じて補足のフィールドワークや取材も実施。
・人数分に裁断した用紙に記事を手書きで仕上げ、台紙に貼りこんで新聞として仕上げ。

6 壁新聞を通じて地域の風景を形づくる歴史や文化等を伝える。





・作成した新聞の内容を学園祭で1～2年生に向けて発信。
・自らの言葉で伝え、後輩と言葉のキャッチボールをすることで、学びの成果をより確かなものに。

課題解決型探究【学校】

豊科南中3年　2024年5～9月

7回の授業を通じてまとめた18テーマの壁新聞

『道祖神がもたらしてきてくれたもの新聞』　『暮らしのBefore・After～in豊科～』　『土地新聞』
『災害に対応していった人々の工夫とは』　『流れから始まる“あいうえお”』　『民家新聞』
『こども病院のヒ・ミ・ツ新聞』　『豊科の気候と暮らし新聞』　『安曇野の家新聞』　『KURA新聞』
『地域のびっくり!!工夫新聞』『安曇野のふしぎ発見新聞』　『ちいきの!!神様新聞』『自然新聞』
『なにぬね！中曽根の新聞』　『豊科の建物の秘密』　『田んぼのレキ新聞』　『安曇野“神”聞』













課題解決型探究【学校】

豊科南中3年　2025年5～9月

身近な風景を知り、地域の成り立ちや文化・くらしへの理解を深め、壁新聞として発信

STEP1「身近な風景を知って読み解く」

学校の周辺の身近な風景に目を向け、そのなかに隠された謎を解き、その背景や理由の相互のつながりについて考える。

1 **身近な風景の見方を学び、考えてみる。**





・見える風景の背後にあるものを知る座学の後、心に残る風景とその構成要素を挙げ気づくことや疑問を整理するミニワークショップを実施



2 **謎解きポイントを巡り、身近な風景のなかに隠された謎を解く。**





・学校周辺の集落環境のなかに息づく、暮らしや水、神様等に関する様々な謎を解いて歩く謎解きウォークを実施





3 **フィールドで知った謎の解を手掛かりに風景の構成要素のつながりを考えるワークショップを実施。**





・グループ単位で掘り下げて探究するテーマや内容を考える。



課題解決型探究【学校】

上級

豊科南中3年　2025年5～9月

STEP2「伝えるべき内容を整理し、取材を行い、壁新聞の構成を具体化する」

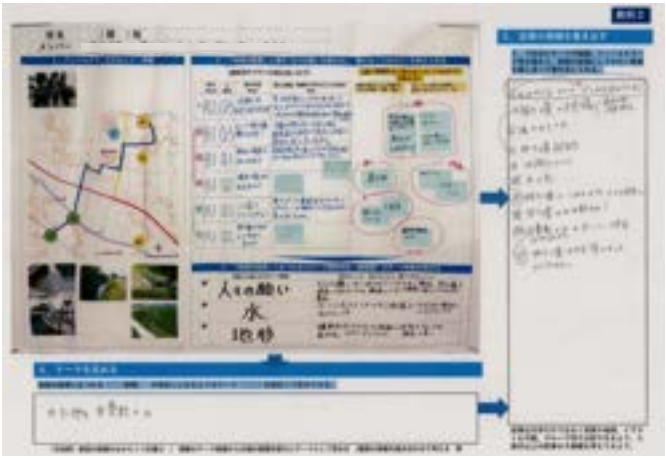
STEP1での学びを活かし、伝えるべき内容を整理し、グループ内で役割を分担。個々で取材を行い、壁新聞の構成を具体化する。

4 新聞取材の手法などを学んだうえで、グループごとに新聞のテーマ・構成を考え、準備や取材を進める。





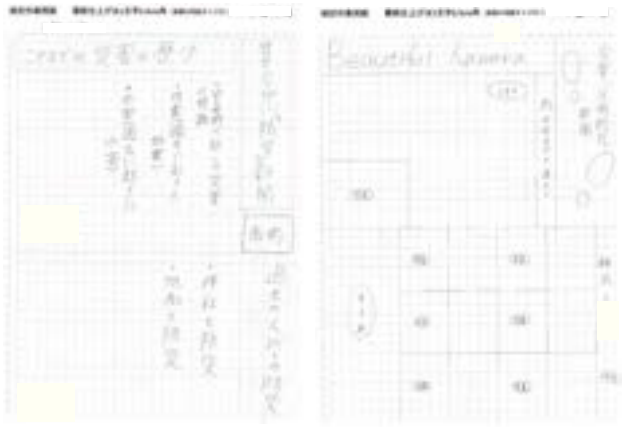
・ワークショップの成果をもとに、壁新聞のテーマや構成、取材する内容の候補を整理（右）
・完成までのスケジュールを確認し、夏休み中に必要な取材を実施（左下）
・その成果を持ち寄り、壁新聞の全体レイアウトをグループ単位で検討（右下）







夏休み中の宿題として一部取材を実施。5W1Hの様式の記録シートに整理。



STEP3「記事を書き、壁新聞を仕上げ、後輩に向けて伝える」

5 グループ単位で壁新聞をつくる。





・個々で取材した成果をもとに、自分の気づきや発見、思いも伝えることに配慮しながら記事にまとめる。必要に応じて補足のフィールドワークや取材も実施。
・人数分に裁断した用紙に記事を手書きで仕上げ、台紙に貼りこんで新聞として仕上げ。

6 壁新聞を通じて地域の風景を形づくる歴史や文化等を伝える。





・作成した新聞の内容を学園祭で1～2年生に向けて発信。
・自らの言葉で伝え、後輩と言葉のキャッチボールをすることで、学びの成果をより確かなものに。

課題解決型探究【学校】

豊科南中3年　2025年5～9月

7回の授業を通じてまとめた19テーマの壁新聞

『ROCK＆GOD　SHOWげきの関わり』　『神噛みしめろ新聞』　『院内学級での生活』　『神様新聞』
『安曇野の自然災害と土地新聞』　『突撃.圧倒的瓦新聞』　『ぐるぐる石新聞』　『豊科の名残』
『わたしたちと安曇野の水』　『豊科の凸凹新聞』　『AZUMINO HISTORY』　『地形新聞』
『歴史から学ぶ防災新聞』　『桜HISTORY　In拾ヶ堰』　『災害と神様の関係新聞』　『開拓新聞』
『災害と神様の関係新聞』　『FireScary新聞』　『AZUMNO Histry』　『Azumino Style』













課題解決型探究【学校】

明科中3年　2025年5～6月

まちの土台を知る、そして、まちの変化＆今に至ったプロセスを考える探究学習

STEP1 「地形を知り、地図の変化を読み解き、地域の暮らしを考える」

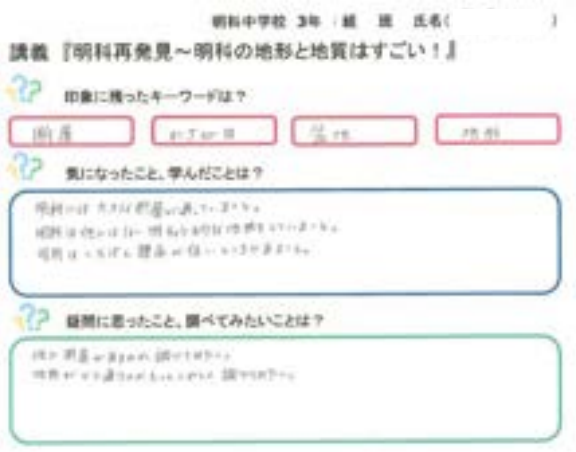
信州大学の教員からの「明科地域の地形・地質」の講義を受けたうえで、新旧地図の比較から見える地域の地形の特色や暮らしの変化をワークショップ作業を通じて概観（いずれも室内での授業）。

1

信州大学 大塚先生による「明科再発見～明科の地形と地質はすごい！」の講義を聴き、その後、立体視鏡で学校周辺の空中写真を観察。地形の凹凸や複雑さを実感。終了後の感想などを用紙に記入。







2

100年前と現在の明科地域の地図を比べ、その変化を観察し、その内容と現在の地域の課題との関係を考えるワークショップ作業を実施。

その変化の背景を探る手掛かりを見つけるフィールドワークに向け、調べたいこと、現地で確認したいことを書き出し、発表・共有。











課題解決型探究【学校】

上級

明科中3年　2025年5～6月

STEP2「フィールドでの学びを手掛かりに、地域の変化の背景やプロセスを考える」

座学で学んだ明科地域の地形や暮らしの特徴を伝えるポイントをフィールドで学び、その成果を振り返りながら、STEP1でのワークショップ成果も参考にして、100年前から現在の明科に至る変化についてグループ単位でシートに整理。

3

現地での地形の観察を通じ、地図上だけではとらえきれない地形と暮らし、明科地域の産業との関係を学ぶフィールドワークを実施。
5か所のうち、各班4か所で、ガイドの案内のもと地形観察と、暮らしの変化の推理を個々で記録。







4

ワークショップで想像したこと、フィールドで学んだことを振り返りながら、100年間の明科地域の変化の様子を推理するとりまとめ作業を実施。
地形（土地の形）や水と人のくらしとのかかわりを知って、現在のまちの抱える課題を解決していく糸口を見出すための学びを深めた。









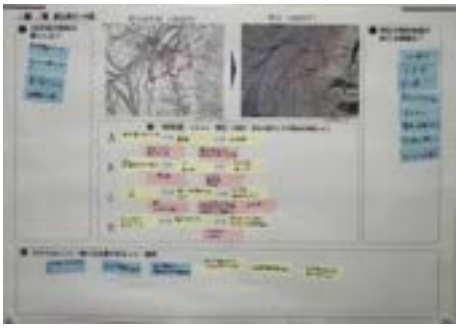


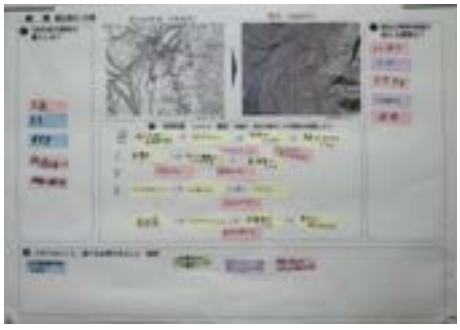
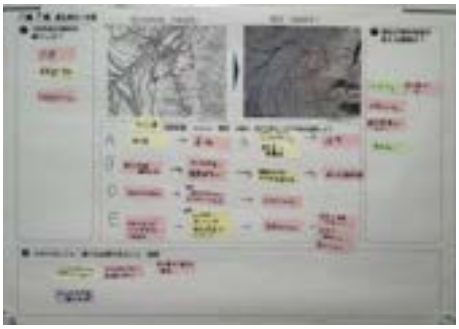
課題解決型探究【学校】

明科中3年　2025年5～6月






ふるさと探究安曇野　事例集　2024-2025

令和８（2026）年３月

発行：　NPO法人 安曇野ふるさとづくり応援団

代表理事　望月　彰

〒399-8304 安曇野市穂高柏原1132番地2